

館蔵の名品

2020年

10月2日(金)～11月15日(日)

開館以来の寄贈品・収集品の中から書の名品32点を展示します。

縦1・8メートル、横約12メートルの超大作・千代倉桜舟書「いろは歌」ほか、勝海舟ら幕末から明治に活躍した23人の書状をまとめた「名家書簡集」(卷子)、王鐸など中国の名筆による名品も7年ぶりに公開します。

赤羽雲庭書「臨蘭亭序」(折帖)など、初公開の作品も12点含まれています。この機会にぜひご観覧ください。

出品者(生年順)

- 【日本】貫名崧翁 中林梧竹 日下部鳴鶴 都郷鐸堂 辻本史邑 津金雀仙 小坂奇石 深山龍洞
 木村知石 西谷卯木 赤羽雲庭 井垣北城 千代倉桜舟 田中双鶴 村上三島 荒井天鶴
 今井凌雪 新居藍州 高木聖鶴 榊莫山 村上翠亭 久保幽香 張美鶴 勝瀬景流
- 【中国】董其昌 張瑞図 王鐸 陳鴻寿 徐三庚 呉昌碩 王一亭

背景の書は千代倉桜舟「いろは歌」(部分)

- 【会場】 1階 特別展示室・3階 書道美術常設展示室
 【開館時間】 9:30～17:00
 【休館日】 月曜日
 【展示解説】 10月28日(水)、11月3日(火・祝) 11:00～11:30
 講師 松山佳代(当館学芸員)
 *申込不要、観覧券必要。
- 【観覧料】 一般 310円(250円) 高校・大学生 200円(160円)
 小・中学生 100円(80円)
 ()内は20人以上の団体割引料金。
 小・中・高校生は土・日・祝日・秋休み期間中は無料。
 高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。

〈お知らせ〉

当館で開催予定だった書道特別展「文字の美 -柳宗悦がみつめたもの」(2020年10月2日～11月15日)は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、来年度以降に延期することとし、上記の企画展に差し替えました。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。